



寒さに負けず、農福推進!!



連日の“猛暑”でうだるような夏を乗り切り、実りの秋の日差しを過ごしやすく感じたのもつかの間、今年もやっぱり寒い季節がやってきました。

冷たい風が吹くこれからの季節、どうしても野外での農作業（依頼・問い合わせ）が少なくなってきました。そんな状況であっても何らかの形で「農」につながる作業のマッチングができればと考えています。

寒い季節を迎えても『農福』の現場は熱く動き続けます

夏季と同様に収穫や定植など圃場での野外作業や屋内で出来る箱折り・袋詰めなどの内職的な作業も含め、作業の掘り起こしに努めます。

これからも皆様方とともに『農福連携事業』の充実と拡大を目指して活動してまいります。ご理解とご協力、そして“声”をお聞かせください。

【農作業のマッチングについて】

先日、JA全農の担当者様からこんな要望がありました。

「〇〇〇〇〇の出荷時積み替え作業を依頼したいのですが、作業の時間を午後1時～夕方5時までに設定・変更は可能でしょうか?」「作業自体は下見・体験をさせていただければ問題ないと思いますが作業時間の変更については作業受託可能な事業所さんに確認します」通常、作業依頼を受ける場合、基本的には午前2時間・午後2時間程度、午後3時以降の作業はあまり受けてくれる事業所さんはありません。

なので、このような通常の依頼内容と違う作業（時間帯）の場合、お話しを持っていける事業所さんは限られてきます。

受託事業所の作業スキル・作業現場までの移動距離・作業料金などは、マッチングする上でいつも意識しているところですが、通常とは違う作業時間帯の説明、受託した場合の提示できるメリットなど…受託する事業所にも、作業を出してくれる依頼先（農家）にも丁寧な説明を心掛けます。「スタッフで相談したうえでお返事します。」その後「検討した結果…お受けします」「ありがとうございます。よろしくお願いします。」こちらの意図したところが伝わって作業を受けていただける事業所が決まり、その瞬間、【思わずガッツポーズ】😊マッチングの第一段階が終わります。

その後、作業（下見・作業体験）→作業終了→請求→支払い という一連の流れでマッチングの完了です。

作業マッチングのお仕事をさせていただく中で思うことは、事故（けが）無く、お仕事の出し手（農家と受け手（福祉事業所）の双方に「よかった」と言っていたいたときが本当の完了なのかな?ということなのです。そのためにもお仕事の掘り起こしはもちろん、レアな依頼も柔軟に受けることのできる受け手のすそ野の広がりも必要だと思います。今後もこれらを踏まえ『農福連携事業』の拡大と推進を図っていきたいと考えます。

（担当：農福連携総括コーディネーター 渡部 栄昭）



《事務局から》

まごころショップは、今年、千葉県船橋市、埼玉県桶川市、群馬県高崎市で開催してきました。今年最後となるまごころショップは千葉県柏市のイオンモール柏で12月17日～23日の7日間開催いたします。

まだ参加申し込みがされていない事業所は、参加されてはいかがでしょうか。アンテナショップ並みの販売が期待できます。多くの事業所に参加いただけることを期待しております。

